

力強く前進する北関東

栃木・群馬・茨城 ——— 新たな価値で活性化



交流スペースの柔らかなインテリアもこだわりの一つ

宇都宮市の起業家支援施設「宇都宮ベンチャーズ」は、寄った創業支援が特徴だ。経営者らで構成する運営委員会（飯村慎一会長・光陽エンジニアリング会長）のカウンセリングなどにより、「卒業した事業の存続率はおよそ7割」（宇都宮市産業政策課）と比較的高水準を維持している。

栃木県産業会館内に施設を構え、シェアオフィスを月額3660円、インキュベーションオフィスは同2万50円、4万5990円と安価に貸し出している。現在の入居企業はシェアオフィスが全14席中12席、インキュベーションオフィスは全8室中5室。

入居には審査が必要で、インキュベーションオフィスの入居企業は1年に2回程度、運営委員会のカウンセリングを受ける決まりだ。同委員会のメンバーは地域の企業経営者や税理士、公認会計士など計6人。経営者の悩みからキヤッシュフローまで相談に乗り、起業を成功に近づける。「コミュニティマネージャ

宇都宮ベンチャーズ 起業家支援 未来への種まき

「が交流会や勉強会を企画し、起業家同士の交流にも力を入れる。会中は和気あいあいとした雰囲気、入居者同士の横連携を促す。緑豊かなパークラウンダーを設置した、交流スペースの柔らかなインテリアもこだわりの一つ。

事業の狙いは、同市を地元とする企業の育成。帝京大学発ベンチャーで入居企業の1社であるBULLはロケットのデブリ（宇宙ゴミ）化を防ぐ「PM装置」開発で、宇都宮市を地域に根付かせる事業を進めている。

同装置はロケットが役割を終えた後に起動し、大気抵抗によってロケットを軌道から離脱させる。宇宙航空研究開発機構（JAXA）や海外ロケットメーカーと装置搭載の検討を進めており、事業化にあたっては装置製造を県内企業に委託する構想だ。

宇都宮ベンチャーズは2002年に事業を開始し、インキュベーションオフィスを卒業した企業は現在計46社程度。今後も起業家支援で未来への種まきを続ける。

栃木県

北関東地域でスタートアップの支援に向けた動きが活発化している。栃木県内の創業支援施設では、入居者同士の交流を通じて創業を後押しし、地域振興に寄与しているほか、群馬県は産学官金で形成するネットワークが、スタートアップの創出と育成を支える。欧州地域との連携も視野に入れ、地域経済を活性化させる。また茨城県は、経営の助言など創業期に必要なサポートを提供する事業を展開中だ。各国立大学からも地域に貢献するスタートアップが生まれている。北関東3県の各種取り組みを追った。



バイオ化学品を生み出す微生物

茨城県は2025年度に新事業「スタートアップと県内企業等との共創プロジェクト」を実施する。欧州連合（EU）を母体とする世界最大級のスタートアップ支援機関、欧州イノベーション・技術機構（EIT）による日本初の「EITグローバルアクトリチプログラム」で、群馬県が選ばれた。EITのスタートアップが来県し、現地視察などを通じて協業を推進する。25年度内に成果を発表する予定だ。県は課題解決とともに、新ビジネス創出につなげる。一方、EITはスタートアップのアジア展開を視野に入れる。県は24年

茨城県

アップを支援する事業だ。ビジネス戦略策定や投資家の紹介など、各社の課題に合わせて柔軟に対応する。2021年に始まり、累計14社を支援してきた。

24年度に同事業では、4社のスタートアップが採択された。筑波大学発の「Biophenolics（バイオフェノリクス）」は、茨城県つくば市、貴井憲之社長は、プラスチック原料となるバイオ化学製品を開発する。石油化学製品の代替材料で、数年内の商



「GUDDブロック」は「富士急ハイランド」などで採用されている（グッドアイ提供）

度には産学官金の「ぐんま起業家支援ネットワーク」を形成し、3月時点で計103メンバーが集まっている。関連イベントなどの支援策と合わせて「スタートアップを創出・育成するとともに、EITとの共創プロジェクトを起爆剤にしたい」（スタートアップ推進室）としている。

また、県では複数の群馬大学発ベンチャーが活躍している。石崎泰樹学長は「大学のシーズはもとより、県の素材などを活用するスタートアップをどんどん増やしたい。地域経済の活性化につながる」と意気込む。

群馬県

企業の課題解決 E Uスタートアップとマッチング

群馬大学発のグッドアイは、板橋秀之副学長が17年に設立した。除草効果や除菌・消臭効果を付加できる「GUDDブロック」をはじめ、土壌改良材「GUDDアグリ」、入浴剤「サンゴライトバスソルト」などを相次いで製品化し、堅調に売れ行きを伸ばしている。板橋副学長は「ビジネスのアイデアがある教授・学生は少なくない。これを生かさない手はない」とした上で「バックオフィス業務の人材を確保することが成長のカギ」と強調する。

ディープテックに焦点 課題に合わせ柔軟支援

茨城大学のグッドアイ（東京都千代田区、岡岡俊希社長）は、エンドファイト（植物内生菌）で植物の育成に取組む。農業や都市緑化などさまざまな用途で活用できる。化学肥料の使用を減らす。自然本来の土壌を保持し、持続可能な植物の育成ができるほか、環境ストレス耐性を付与し、気候変動下でも安定的な生育を目指す。

国内屈指の研究機関の集積地であるつくば市もスタートアップ育成に積極的。同市は22年にAI（人工知能）やビッグデータなど先端技術の活用・社会実装を目指す国の「スーパーシティ型国家戦略特別区域」に認定。23・27年度を期間とする「第2期つくば市スタートアップ戦略」を推進中だ。

23年度には既存事業を進化させて独自の「つくばスマートシティ社会実装トライアル」をスタートした。スタートアップなどをはじめ革新的技術・アイデアを持つ企業を支援していく。

■GCIの技術フィールド

樹脂合成技術

コア技術

でんぶん、穀物糖化技術

（化学分野）

電子材料用
封止材用
磁石用
摩擦材用
フェルト用
積層材料用
布紙強化用
塗装用
鋳物用

（食品分野）

製菓用
飲料用
調味料用

耐火物用
断熱材用
合板材料用
成形材料用
ゴム配合用
航空宇宙開発用
水処理用

Green Chemical Industryとして
社会の持続的成長に貢献します。

GCI

GUN EI Chemical Industry

群栄化学工業株式会社

群馬県高崎市宿大瀬町700番地 TEL：027-353-1818

FUKAI

深井製作所

株式会社深井製作所

〒326-0005 栃木県足利市大月町465-3
TEL.0284-40-2020 FAX.0284-40-2025
URL <http://www.fukai.co.jp/>

熱プレスレンタル

www.7311.jp

試作・成形などで、当社に使いに来ませんか？

種類

熱プレス
(~320℃)

冷プレス

サイズ

650X1350mm

650X1350mm

初日料金
(料金は税別)

60,000円

20,000円

※その他のサイズもあります。
詳細はお問合せ下さい。

栃木県小山市南部 問々田駅 東4km
TEL 0285-27-7311

これからは、
サステナブルな冷媒で

GreenR

「OILMATIC」をはじめとする当社製品に使用する冷媒について、これまでの「代替フロン」から、自然冷媒など温室効果の小さい「グリーン冷媒」へ、置き換えを加速しています。

「グリーン冷媒」搭載機種を「GreenR」と名づけ、ラインナップ化しています。「GreenR」搭載機種は専用ロゴで明示。工作機械の主軸冷却やクーラント液の温度制御など、熱負荷の抑制に対応するアプリケーションを順次増やしていく予定です。

OILMATIC

AUTOMATIC LIQUID TEMP. REGULATOR

油温自動調整機

SDGsへの取り組み

当社のSDGsの取り組みについては、ごちよりご質問いただくことができます。

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

9

12

13

関東精機株式会社

【本社】〒371-0854 群馬県前橋市大渡町2-1-10
TEL.027-251-2121 FAX.027-251-0924
<https://www.kantoseiki.co.jp/>

その先の技術へ

KIKUCHI

JISQ9100・ISO14001 認証取得

開発段階からご相談ください
深い経験とノウハウで最適な提案・製作が可能です。

菊地歯車株式会社

〒326-0332 栃木県足利市福富町726-30
TEL 0284-71-4315 FAX 0284-72-6519
<http://www.kikuchigear.co.jp>

I.M.C

産業人クラブは全国に広がる産学官金のネットワークによって、
あなたの豊かな人脈づくりをサポートします。

群馬産業人クラブ

会長 有田 喜一

栃木産業人クラブ

会長 菊地 義典

茨城産業人クラブ

会長 高橋 日出男



宇都宮市はLRT事業を通じた街づくりを加速する（佐藤市長）

宇都宮市

宇都宮市の佐藤市長は市の25年度当初予算を「『国内屈指の魅力と活力、存在感を備えるまち』の実現を目指し、『スーパースマートシティ』の具現化、深化を果たす予算」と説明した。一般会計は24年度比4・8%増の2406億円で、過去最大となった。

活力の源「人づくり」推進

市は活力の源と位置づける「人づくり」推進に比較的多くの予算を振り向けた。子育て負担を軽減するため、小中学校・保育施設などに給食費を支援する。金額は子ども1人当たり月2000円。合わせて、全天候型の子どもの遊び場の拡充などにより、子育て環境

「スーパースマートシティ」具現化・深化

LRT軸に「駅まち空間」構築

に合わせ、歩行者空間を拡張する駅前広場の再整備を実施する計画。LRT延伸後も開発を進め、50年に向けて人中心の「駅まち空間」を構築する。

LRT開業済み区間の「平石停留場」前では、26年3月に「東部総合公園（アークタウン宇都宮）」を開園する。同公園はスケートボードパーク、BMXのパークや多目的広場を整備し、一般のスポーツ利用や国際大会誘致を見込む。沿線に目玉施設を整備し、LRTを基幹交通とした街づくりに生かす。

LRT事業は佐藤市長が旗振り役を務め、開業後も順調に利用者数を伸ばしている。

栃木 少子化対策を加速

栃木県と宇都宮市は福田富一知事と佐藤栄一市長がともに6期目のダブル選挙で当選後、初となる2025年度の当初予算をまとめた。それぞれ結婚、出産、育児支援など少子化対策に重点を置く。経済分野は栃木県が産学官金のマッチングを主導する「イノベーションエコシステム」構築に取り組む。宇都宮市は次世代型路面電車（LRT）関連の街づくり施策で「スーパースマートシティ」実現に弾みをつける。

地方創生へ「未来への投資」

「さまざまな分野における未来への投資となる施策を多数『ぎゅーつと』盛り込んだ」。栃木県の福田知事は県の25年度当初予算の特徴をこう紹介し、「未来への種まきぎゅーつとちぎ予算」と命名した。一般会計は24年度比0・9%減の90242億円で、4年連続の減少となった。特に重点を置くのが少子化対策だ。施策の柱は「結婚支援の充実」「子育て環境の整備」「働き方改革の推進」とした。福田知事は「課題を克服するためオール栃木で、産業界も含めて目的をしっかりと決め、総合力で対応することが必要」と訴えた。

新規事業として、会員登録制のマッチングシステムを提供する「とちぎ結婚支援センター」の活動範囲を東京圏に広げ

25年度県予算

東京圏の企業と連携 県内産業の「稼ぐ力」強化

を進める。福田知事は6期目の公約で触れた給食費無償化に向けては、県内の25市町と事務レベルの協議会を立ち上げ、25年度に意見交換する。政府動向も注視しつつ、各市町が最低限取り組めるベースラインを見定め、予算化を目指す。

産業政策では、県内産業の「稼ぐ力」強化を目指す。新事業の「イノベーションエコシステムプロジェクト」支援事業として、東京圏のコミュニティ拠点で県内中堅、中小企業のビッチイベントを行う。東京圏の企業などと連携したイノベーションが絶え間なく生まれ、新しい観光名所として活用したい考えだ。

福田知事は24年11月の知事選挙で6選を果たし、当選回数は全国の現職知事で最多となった。6期目の公約で「未来への投資」を掲げており、地方創生の実現へベテランの手腕が問われる。



栃木県の25年度当初予算への命名を発表する福田知事

梱包・包装資材 自動化・省力化機器のコンサルタント商社

株式会社 フカサワ

www.fk-net.co.jp

工場が必要とされる資材と機器をワントップでご提供
調達コストの削減・効率化にお応えいたします

・本社(宇都宮) TEL.028-651-0005	・土浦支店 TEL.029-832-5535
・宇都宮支店 TEL.028-661-4255	・郡山支店 TEL.024-947-1125
・東京支店 TEL.048-950-3560	・那須支店 TEL.0287-36-3344
・向毛支店 TEL.0282-55-4011	・伊勢崎支店 TEL.0270-77-9955
・水戸支店 TEL.029-354-2615	・成田支店 TEL.0476-49-0090
・下館支店 TEL.0296-47-8144	・鶴ヶ島支店 TEL.049-279-5505

お近くの窓口へ お気軽にご相談ください

花から野菜・果物まで鮮度長持ち!

保鮮システム 快蔵くん

特許技術により
農産物の計画的な生産管理
流通に大きな威力を
発揮します

株式会社 大高商事

栃木県宇都宮市宝木本町1474番地5 URL: https://daikoh.inc
TEL.028-665-1911 FAX.028-665-1919

栃木県の優良企業

熱処理治具の革新 『CCハイブリッド®』

・鋳鋼製に比べ5倍の長寿命、約70%の軽量化
・高温・自動化に対応可能

～日光金属は地域社会とともにカーボンニュートラルを目指します～

製造元: 日光金属株式会社
販売総代理店: 株式会社 サンコーマテリアル
〒329-1571 栃木県矢板市片岡2066-2
電話: 0287-47-4581 / 4583 FAX: 0287-47-4582 / 4584
mail: nima@nikko-kinzoku.co.jp http://www.nikko-kinzoku.co.jp

制振アルミ鋳物ロボットベース

アジャスタ付キャスタで移動と設置が楽々

タクトタイムの向上
異物混入対策に

3シリーズ
9アイテムを揃えました

トルタイプ h650 / 700 / 750
ミディアムタイプ h550 / 450
ミニタイプ h150 / 200 / 250 / 300

RHEON 株式会社 レオンアルミ
〒329-0502 栃木県下野市下吉山2963 Tel.0285-52-0301 FAX.0285-52-0302
http://www.rheon-alumi.com/

機能を追求したユニットパーツを 鋳造から機械加工、組立まで 社内一貫生産

お客様のニーズに合わせた各種
産業装置を設計、製造致します

主要製品: 建設機械部品
農機具部品
車両部品
金型・治具

生産材質: 鋳鉄品(FC、FCD)
(主要) アルミ品(ADC12)

自社製品: 産業装置
(洗浄機、試験機)

標準機
【ニッコースマート
洗浄機 (NSW)】

コンパクト・
高性能を両立

- ・最大ワーク寸法
…350×200×300mm
- ・最大ワーク重量
…30kg

社内技術から生まれた洗浄機
信頼と実績の累計販売1500台

株式会社 ニッコークリエイト

本社工場 〒328-0113 栃木県栃木市都賀町合戦場490
TEL.0282-27-5011 FAX.0282-27-8238
http://www.nikko-create.co.jp

世界に一台しかない ものづくりに、 挑戦し続ける。

自動化・省力化機械の設計、製造
創業から50年以上 積み上げた実績と信頼

宇都宮精機株式会社 〒329-1102 栃木県宇都宮市白沢町2012-4
TEL.028-673-2377 FAX.028-673-5840

ゴムゴムのオ!!!!

ゴム作りを支える! そのゴムできます!!

ゴム金型、治工具
有限会社 本郷精巧

ゴム製品
株式会社 グラストラバー

HONGO SEIKO GRASSTRUBBER

ホンモノの一貫生産

設計・開発・鋳造・機械加工・アッセンブリ
あらゆるプロセスを自社内で一貫通貫

鋳物の未来を創る
錦正工業株式会社

KINSEI engineering
〒329-2733 栃木県那須塩原市二区町353-6
TEL.0287-36-1077 FAX.0287-36-1079
https://www.kinsei.jp/

北関東特集

茨城県 中小・地域産業を振興

宇宙ビジネスコンソーシアム立ち上げ

JAXA・メーカー・宇宙スタートアップなど

発注に関わる相談・依頼

事務局：茨城県など
運営や活動支援／受注窓口

発注情報

受注報告

県内のモノづくり企業

茨城県は宇宙産業に特化した共同受注体「IBARAKIスペースサプライネットワーク」について、県などが事務局となり2024年10月末に立ち上げた。県内のモノづくり企業が参加する。宇宙航空研究開発機構（JAXA）やメーカー、宇宙スタートアップと取引しやすい体制を整え、宇宙産業の活性化を促す。茨城県の鈴木英治特選・宇宙プロジェクト推進室長は「日本の宇宙産業のサブライチェーン（供給網）構築に貢献する」と意気込む。IBARAKIスペースサプライネットワークには、現在38社が参加する。各企業が得意分野を生か

つくば研究機関集積生かす

し、人工衛星の機器などを受注する。初めて事務局で発注者からの相談や依頼を受け、受注できる候補企業を選定する。その後は受注側、発注側それぞれが協議して契約や納品につなげる。

まずモーターや基板などの部品から取り組み、26年度以降に姿勢制御装置や筐体といったコンポーネントの受注に着手する。共同受注体の管理は27年度以降、中核企業を中心にした自主運営に切り替える。受注対応のほか、展示会への出展やマッチング会を開き、情報発信を進める。共同受注体の参加企業向けに宇宙産業特有の品質や商習慣を学ぶ勉強会も開く。

県は18年8月頃から宇宙産業を本格化させた。筑波研究学園都市（つくば市）などに各研究機関が集積することや、都心からのアクセス性が強みだ。「国内宇宙産業をリードする一大拠点を形成する」と鈴木室長は事業の狙いを説明する。より一層の成長が見込める宇宙産業で勝負をかける。

海外出展に手応え

中小支援継続

茨城県は、地域の産業振興に注力する。中小モノづくり企業には、海外展示会の出展をサポートし、国外企業との取引機会を創出するほか、高い技術力を生かした高付加価値産業への参入を助ける。また首都圏第三の空港として生まれた茨城空港は、県内や北関東地域の人や物資の移動に欠かせない存在だ。人口減少社会を見据え、次世代産業の発展に向けて動き出す県の取り組みを追った。

外での販路開拓を後押しする。24年度の「ものづくり海外展開推進事業」では、タイのアジア最大級の金属加工技術展「メタレックス」、ドイツの製造業分野の総合展「エレクトロニカ」に出展した。県が主催者や出展契約し、モノづくり企業はそのブースに出展した。県から事業を受託して運営した、いばらき中小企業グローバル推進機構が継続的に取引の成立に向けてサポートする。海

商談125件、新年度は予算増



タイの展示会で茨城県ブースに立ち寄る参加者

で来訪者をつただけでなく、専門家の同伴で展示会場内を巡り、現地企業の情報収集にも取り組んだ。エムテック（茨城県ひたちなか市）は、県内製造業で組織する共同受注体の1社として、メタレックスに出展した。当日は数値制御（NC）旋盤の切削加工について来場者に説明した。松木徹社長は「タイに市場の成長性を感じた。継続して開拓していく可能性も見えた」と笑顔を見せる。

アルコ・イーエックス（同）は、介護向け見守りシステムをエレクトロニカに出展した。木田文二社長は「想定以上に関心を持つってくれる人が多かった。こちらも現地でセンサー部品の情報収集ができた」と振り返る。帰国後も商談が続いているという。

茨城県は25年度当初予算に、同事業で前年度比14・4％増の1億1900万円を計上した。25年度は米国の展示会にも出展する。現地企業との事前マッチングも拡充し、商談の成約率を高める。県の武井雅樹中小企業課長は「個々の企業の製品・技術に寄り添いながら、1件でも多くの成約に結びつけたい」と意気込む。

茨城空港、開港15周年 地域利用に注力



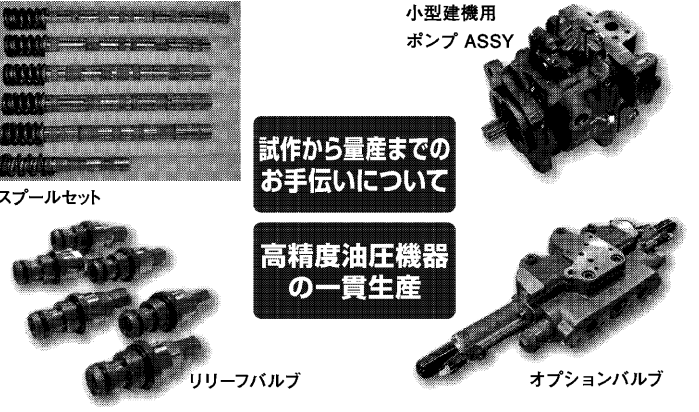
空港ビルの拡張や誘導路の新設を視野に入れる

茨城空港は11日、開港15周年を迎えた。首都圏の旅客需要を支え、これまでに累計750万人以上が利用した。現在は国内4都市、海外2都市への路線を運航する。茨城県は県内や就航地で、茨城空港発着便の利用をアピールする。2024年度は今後の空港利用の方向性を決める産学官の検討会も開き、ターミナルビルや駐機場の拡充も視野に入れてビジョン策定を進める。産学官で連携し、地域経済の核となる空港を作る。現在、国内便はスカイマークが神戸や札幌（新千歳）を結ぶ。30日には搭乗率の高い福岡便が1日2往復に増え、利便性が向上する。国際線は格安航空会社（LCC）のタイガーエア台湾と中国・春秋航空が、それぞれ台北（桃園）と上海（浦東）に往復する。空港の利用促進を担当する県の青木祐人副参事は「順調に利用者を増やしている」とする。その反面「旅客の利便性維持を考えると、空港が手狭になりつつある」（同）状況だ。もともと同空港は国内線・国際線それぞれ1時間当たり最大1便を受け入れる設計。一方、現在は1時間2便以上対応する時間帯もある。保安検査場や待合ロビーの混雑で、出発便の遅れも懸念される。

検討会では、県内の発展に向けた空港の将来ビジョンの策定を目指す。2月上旬の検討会にはビジョンの素案として、1時間2便以上の受け入れを前提にした空港ビルの拡張や誘導路の新設を示した。新たな観光・ビジネス需要の創出として、ビジネスエントを使って量産層向けツアーの企画や航空貨物需要の呼び起こしなど議論を進める。

「挑戦」と「創造」の油圧機器の専門製造メーカー

コアパーツ及びOEM製品の製造



小型建機用ポンプ ASSY

試作から量産までのお手頃について

高精度油圧機器の一貫生産

スプールセット

リリーフバルブ

オプションバルブ

詳しくは、ホームページをご覧ください。

株式会社 協立製作所

茨城工場 〒309-1105 茨城県筑西市三郷1239 TEL.0296-57-6151(代) FAX.0296-57-9849

I.M.C

異業種交流の草分けとして半世紀以上

茨城産業人クラブ



SUNYOU

卓上プラズマエッチング装置

●高品質なプラズマ加工が可能

●低残渣かつ高歩加工を実現

●試料を移動させた広範囲の加工が可能

TP-50B

☆半導体故障解析用試料の前処理（配線露出）からステージを使用した平坦加工まで幅広く対応致します。

株式会社 三友製作所 テクノセンタ 〒319-1225 茨城県日立市石名坂町 2-43-4 TEL 0294-33-9931 FAX 0294-33-9932 URL <http://www.sunyou-ss.co.jp> E-mail info-sales@sunyou-ss.co.jp

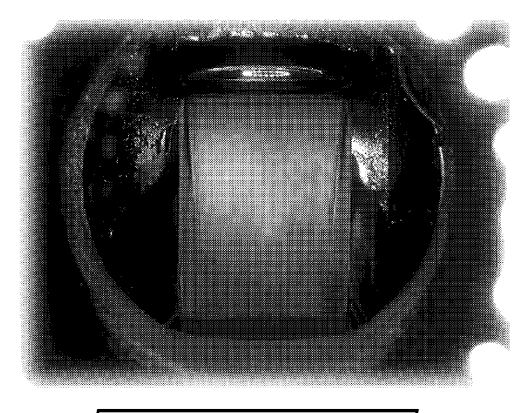
産業人クラブは全国に広がる産学官金のネットワークによって、あなたの豊かな人脈づくりをサポートします。

〒310-0015 茨城県水戸市宮町2-3-2 富士ビル8階（日刊工業新聞社 茨城支局内）TEL 029-221-6400 FAX 029-221-6416

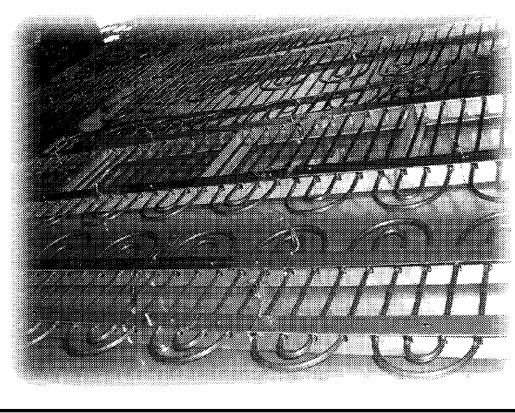
助川電気工業は

熱と計測のシステムエンジニアリングにより

「技術力」で社会に貢献する企業です



液体リチウム膜



電気ヒーター（シーズヒーター）

主な製品

シーズ熱電対、シーズヒーター、加熱器、MIケーブル、MIケーブルを利用したセンサー類、液体金属用電磁ポンプ・流量計・レベル計、液体金属試験装置、機器・装置の設置作業等

Nimblox 助川電気工業株式会社

本社住所：茨城県高萩市上手綱3333-23

TEL:0293-23-6411 FAX:0293-22-2909 E-mail:webadmin@net-sukegawa.com

<https://sukegawadenki.co.jp>

海外販路の開拓や新技術・新製品の開発に向けた中小企業者のチャレンジを支援します

いばらきチャレンジ基金事業 ※令和7年4月公募予定。事業内容等は変更となる場合があります。

事業名	対象となる助成事業の内容	助成限度額	助成率	助成期間
海外販路開拓促進事業	・海外販路開拓を目的とした展示会等への出展	150万円		
外国語ウェブサイト制作事業	・海外販路開拓を目的とした外国語ウェブサイト制作	100万円		
国際認証取得事業	・海外販路開拓を目的とした国際認証取得	250万円	2/3以内	
新技術・新製品開発促進事業（単年度）	・革新的な新技術・新製品開発	250万円		
新技術・新製品開発促進事業（複数年）	・地域資源を活用した新製品開発			
	・大学・研究機関等の知見を活かした新製品開発			
	・上記を活用した新サービス開発	500万円		

※「海外販路開拓促進事業」と「外国語ウェブサイト制作事業」は併用が可能です。

お問合せ先 公益財団法人 いばらき中小企業グローバル推進機構 グローバル展開二課 経営助成担当

〒310-0801 水戸市桜川2-2-35 茨城県産業会館 ☎ 029-224-5317

詳しくは機構HPを参照ください。